

大会名	第8回 全日本社会人バスケットボール選手権大会			
Competition	兼 第8回天皇杯・第79回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会予選			
NO.	M-13	Year	Month	Day
		2012	年 11	月 4
				日 9 : 30
場所 Place	秋田市立体育館			



秋田県バスケットボール協会

チームA	チームB
九州電力	JR東日本秋田
79 ○	66 ●
19 1st 16 12 2nd 13 25 3rd 13 23 4th 24 OT	

主審・Referee 小澤 勤 山梨
副審・Umpire 堀内 昌浩 宮城
中島 淳 広島
テーブルオフィシャル・Table officials 秋田教員

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	
1	×	熊谷 駿	駿 熊谷	19	1	6	4	3	0	×	畠山 純也	純也 畠山	0	0	0	0	0	
3		樋口 靖英	英 靖口	-	-	-	-	0	1	/	若月 徹	徹 若月	2	0	1	0	1	
5	/	中川 直之	之 直川	0	0	0	0	2	3	/	斉藤 奨	奨 斉藤	0	0	0	0	0	
6		松谷 直人	人 直谷	-	-	-	-	0	7		工藤 鉦介	介 鉦藤	-	-	-	-	0	
7		吉満 俊孝	孝 俊満	-	-	-	-	0	9	×	石橋 拓	拓 CAP 石橋	19	0	9	1	5	
11	/	織田 秀司	司 秀田	6	1	1	1	1	11	×	一戸 祐也	也 祐戸	8	1	1	3	3	
14		大野 敬太	太 敬野	-	-	-	-	0	12	/	根岸 城二	二 城岸	3	0	1	1	3	
18	×	岡 隆輔	輔 隆岡	9	0	3	3	2	13	/	佐藤 哲朗	朗 哲藤	0	0	0	0	1	
21	×	毛利 孝志	志 孝利	13	3	2	0	3	14		中山 祐樹	樹 祐山	-	-	-	-	0	
26		坂本 祐一	一 祐本	-	-	-	-	0	15		村山 範行	行 範山	-	-	-	-	0	
27	/	長澤 諭史	史 諭澤	0	0	0	0	1	18		佐々木 恭	恭 木佐	-	-	-	-	0	
31		児嶋 修平	平 修嶋	-	-	-	-	0	19		田澤 俊之	之 俊澤	-	-	-	-	0	
32		村瀬 敦希	希 敦瀬	-	-	-	-	0	24	×	高橋 純	純 純橋	11	0	4	3	2	
33		横山 優王	王 優山	-	-	-	-	0	33	×	佐藤 光	光 光藤	14	3	2	1	3	
34		佐敷 幸英	英 幸敷	-	-	-	-	0	55		菅 佑喜	喜 佑菅	-	-	-	-	0	
40		賀来 龍矢	矢 龍来	-	-	-	-	0	57	/	土崎 貴宏	宏 貴崎	9	0	3	3	2	
45	×	根岸 豪	豪 CAP 根岸	15	0	5	5	1	96		黒政 成広	広 成政	-	-	-	-	0	
75	×	田中 喜陽	陽 喜田	17	0	7	3	4				-	-	-	-	-	0	
コーチ		山口 健太郎	郎 健山口						コーチ		柿崎 智弥	弥 智崎						
Aコーチ		柚木 毅	毅 木柚						Aコーチ		佐藤 哲朗	朗 哲藤						
合計				79	5	24	16	17	合計				66	4	21	12	20	

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

両チーム、マンツーマンディフェンスでスタート。

1P、九州電力はローポストから連続2ゴール。一方JR東日本は#9石橋のジャンプシュート#24高橋のオフェンスリバウンドからのゴール。両者一進一退の攻防が続く中、流れを引き寄せたい地元JR東日本は#33佐藤がバスケットカウント、#13佐藤もゴールを決める。一方、九州電力は#21毛利の連続ゴールで応酬。19-16で九州電力のリードで終了する。

2P、九州電力#45根岸の速攻#75田中のゴール下。一方JR東日本は#9石橋のジャンプシュートで応酬したが、九州電力に流れが傾き始める。5分切ったところで#9石橋のミドルシュートでJR東日本この試合初めてリードを奪う。7分経過して九州電力#11織田がファウルを誘いバスケットカウントで再逆転。ここでJR東日本はタイムアウトを請求し態勢の立て直しを計る。一進一退の攻防が続く中、九州電力#1熊谷のミドルシュートが成功し31-29で九州電力リードで前半を終える。

3P、JR東日本は#24高橋が九州電力の堅い守りをかいくぐりゴールを決める。九州電力の#75田中ゴール下#18岡の速攻で40-33と点差を広げ、たまたまJR東日本タイムアウトを請求し態勢を立て直す。JR東日本は#9石橋を中心にオフェンスを組み立て追いつがるも、九州電力は#75田中のインサイド、#11織田のミドルシュート、#45根岸の速攻と連続加点し追いつがるJR東日本へのリードを14点に広げ56-42で終了。

4P、4分経過、JR東日本はタイムアウトを請求し態勢の立て直しを計り、#33佐藤の3pts等の得点で流れを掴みだした所で、九州電力はタイムアウトで立て直しを計る。残り3分でJR東日本はオールコートあたり、九州電力のミスを誘いフリースローで連続加点し、2分を切り最後のタイムアウトを請求し反撃の態勢を計るが、九州電力は最後まで落ち着いてゲームをコントロールし、79-66で地元JR東日本に勝利した。